

令和8年度 調布市立第五中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
「徳」思いやりと助け合う心をもとう。「知」自ら学ぶ人になろう。「体」心と体を鍛えよう。	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
生徒一人一人に居場所があり、安心・安全で自分の力を伸ばせる学校	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	調布市教育委員会が目指している「子供一人一人を大切に教育の実現」に向けて、本校では、義務教育最終段階の教育課程で、持続可能な社会の創り手を担う「人」の育成に重点を置くとともに、生徒が自分の力を最大限発揮できる環境を創り、生徒の学びを支えていく。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> 相手や状況に応じて自分の考えが正確に伝わるように工夫して表現する力。 他者とのコミュニケーションを通して、様々な意見を共有し発展させていく力。 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数での発表、クラスでの発表、プレゼンテーションなど、様々な内容や形式での発表を実施する。 少人数での話し合い、クラスでの話し合い、思考ツールを用いて考えを形成し、意見を深めていく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 対話的な学習に主体的に取り組み、自分の意見を発信し、また他者の意見を受け入れることのできる力。 社会的課題に対して、他者と協力し、問題を解決する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数での話し合い活動により、全員が参加する環境を作る。授業計画や振り返りシートにおいてICTを活用することで、見通しをもち、主体的に学習に取り組めるようにする。 様々な社会的課題に対し、解決方法について話し合うなど多面的・多角的に考える機会をつくる。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 好奇心をもち、粘り強く試行錯誤して解決しようとする力。 課題に対し、見通しをもち、既習事項に帰着させて解決しようとする力。 自己の考えを、自信をもって(安心して)他者に伝える力。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を示すことで、見通しをもって学習に臨めるようにする。プリントの投影等ICTを効果的に活用する。 「基礎的、基本的な知識を定着させるためのインプットの時間」、及び、「その利用方法を考え、表現するためのアウトプットの時間」の両方を、計画的に実施する。 ペアあるいは4人組で、話し合い活動を行う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ姿勢。 基礎、基本的な知識と技能。 科学的な事象に対して、自らの思考をまとめ、判断し、表現する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を明示し、見通しをもって取り組ませる。 ミライシード等のICTを活用し、授業内容の振り返りを行い、知識を定着させる。 グループワーク、実験、観察、レポートの作成を行い、生徒が主体的に学ぶ時間の充実を図る。 環境問題や日常での話題に触れ、学びを生活に生かす。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 生き生きと授業に取り組む態度。 自ら学習し、表現しようとする力。 音楽を通じた、コミュニケーション能力。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々が意欲的に学習に取り組めるよう、ICT活用方法の工夫や教材を含めて教える側の研究を日々進める。 歌唱等を通して、表現できる時間と場を多く設定する。 相互学習の場を設け、互いに尊重しあえる環境をつくる。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 自ら楽しく表現活動に取り組める力。 意欲的、主体的に表現活動に取り組む態度。 表現力。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な題材に取り組むことで、生徒に興味関心をもたせる。 表現方法の多様さを知り、表現方法の技術を学ぶことにより表現能力を伸ばす。 鑑賞の授業で、ICTを効果的に活用する。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 目的意識をもって、自分の目標に向かって努力する力。 主体的に運動に親しむ態度。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を明確に示すことで、自分の目標を立てやすくするとともに、主体的に活動できるようにする。 ICTを活用し、自分の運動能力を確認する場面を増やす。 「できた」という達成感を毎時間味わうことができるよう、一人一人への声掛けを増やす。

<p>技術・家庭</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの生活とつなげ主体的に学ぶ姿勢。 ・ものづくりを通じた、創造する力と技術力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的、基本的な知識や技能の定着を図るとともに、グループ活動を行うことで課題解決に向かう力を培う。 ・ICTの活用を通して、思考力、判断力、表現力を発揮する場面を増やす。
<p>外国語 (英語)</p>	<p>聞くこと：身近なことに関する話や指示を理解することができる力。</p> <p>読むこと：簡単な物語や身近なことに関する文章を理解することができる力。</p> <p>話すこと：身近なことについて簡単なやりとりをすることができ、準備をすれば、スピーチやパフォーマンスをすることができる力。</p> <p>書くこと：自分のことや身近なことについて、まとまりのある文章を書くことができる力。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・帯活動等を通して、基礎基本を定着させる。 ・ペア・グループ学習を通して、良い表現を生徒同士が学び合う機会を増やす。 ・ペア・グループ学習において、個々に役割を与えて学習させることで、学習に粘り強く取り組む姿勢を身に付けさせる。 ・発表前には繰り返し準備・練習の時間をとり、自信をもってパフォーマンスに取り組めるように授業を計画する。 ・復習確認や発表活動においてICTを効果的に用いる。
<p>道徳科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えを聴き、相手の立場や考えを考慮し、尊重する態度。 ・友達と対話し協働しながら、物事を広い視野から多面的・多角的に考える力。 ・感じたことや考えたことをまとめ、自分の考えを伝えたり、友達と話し合ったりする力。 ・自分の生活を振り返り、自らの成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりする力。 ・問題意識をもち、自己を見つめ、道徳的価値を自分自身との関わりで捉えようとする姿勢。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考える学習活動を行う。 ・4人以下での話し合いなど、対話的な活動の充実を図る。 ・問題解決や体験的な学習など指導方法を工夫する。 ・自己理解や他者理解を深める学習を展開し、自己の生き方や人権について深く考える時間を設ける。 ・動画教材（ICT）を効果的に利用する。